

取り組み紹介書

施設 浜北愛光園	職場 氏名 団体の場合は団体名 第1・第2ケアサービス課
-------------	------------------------------------

【タイトル】「ケアソポーター」… 専門職が専門業務に集中できる仕組みづくり
【課題】 施設で働く職員は、介護等の直接ケア＝専門業務のみならず、掃除・洗濯・物品補充など、多くの周辺業務も担っている。しかし、それらの周辺業務に追われ、利用者との直接的関わりが減少しているという課題が認められた。
【目的】 本来の介護職・看護職の「楽しさ」や「やりがい」を得られるように、業務の切り分け（専門職業務と以外の業務）を行い、地域の元気な高齢者や主婦などに専門職以外の業務を担っていただくことで、職員が専門職業務に集中しやすい環境を作りたいと考えた。
【方法】 (1) 専門職以外でもできる業務として、 風呂掃除、配膳・下膳、台所掃除、簡易な更衣介助、整髪、医療器具の消毒、 体温測定などをピックアップ。 ⇒ 専門職以外の業務を更に ① すぐに実施しないといけない業務 ② 本日中にやる業務 ③ 今週中に完了できればよい業務 に振り分け、 ケアソポーターの働きたい時間と浜北愛光園が必要とする時間を マッチングさせやすいように工夫した。 (2) 地域の高齢者や主婦の方をパート職員（ケアソポーター）として雇用。 (3) 上記業務を依頼。
【結果・効果】 結果、介護職・看護職は、ご利用者のケアに集中できる仕組みをつくり上げた。 現状、40歳代－2名、60歳代－2名、70歳代－2名のケアソポーターが活躍中。 業務を切り分けることで、職員は利用者と関わる時間が増えた他、雑務を時間外に行うことが減少した。更に高齢者がケアソポーターとして活躍することで、我々が気付けなかつた視点や関わり方が発見でき、想定以上の良い効果が得られていると実感している。
【事業団内外の表彰実績（表彰されている場合）】 ・令和元年度「静岡県優良介護事業」

※人命救助などの場合は添付の必要はありません。